



2022年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 不二精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6400 URL <https://www.fujiseiki.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊井 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤本 由数 TEL 06-7166-6822
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第2四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第2四半期	3,742	△1.2	258	△31.3	272	△31.6	165	△55.0
2021年12月期第2四半期	3,788	18.4	375	67.0	397	500.8	366	—

(注) 包括利益 2022年12月期第2四半期 446百万円 (△16.0%) 2021年12月期第2四半期 530百万円 (794.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第2四半期	20.60	—
2021年12月期第2四半期	46.06	45.76

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第2四半期	8,782	2,609	29.7
2021年12月期	8,178	2,195	26.8

(参考) 自己資本 2022年12月期第2四半期 2,609百万円 2021年12月期 2,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,909	5.9	427	△29.5	375	△39.1	300	△40.7	37.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年12月期 2 Q	9,054,000株	2021年12月期	9,054,000株
2022年12月期 2 Q	946,209株	2021年12月期	1,085,109株
2022年12月期 2 Q	8,010,277株	2021年12月期 2 Q	7,953,133株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により、それまでの雇用情勢や所得環境の改善による景気の緩やかな回復基調は一変し、米国、中国の対立やロシアによるウクライナ侵攻の影響も懸念されるなど海外経済の不確実性が高まり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比較して、射出成形用精密金型及び成形システム事業、精密成形品その他事業の両事業の売上高が減少したことにより、前年同四半期比45百万円(1.2%)減の37億42百万円となりました。

損益につきましては、主に射出成形用精密金型及び成形システム事業の収益性が低下したことにより、営業利益は、前年同四半期比1億17百万円(31.3%)減の2億58百万円となりました。経常損益では、円安傾向は続いているものの、為替差益が17百万円減少するなど、経常利益は、前年同四半期比1億25百万円(31.6%)減の2億72百万円となりました。特別損益項目、法人税等を加え、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比2億1百万円(55.0%)減の1億65百万円となりました。

なお、中国上海市で新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的に実施されたロックダウンにより、同市の子会社(上海不二精機有限公司)が事業活動全般の停止を余儀なくされ、同期間中の固定費等を「新型コロナウイルス関連損失」として特別損失項目で表示しております。ロックダウンの解除以降、工場の稼働率は徐々に回復し、現在は平常通りの操業となっております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異について(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	4,007	218	193	154	19.33
当第2四半期連結累計期間実績(B)	3,742	258	272	165	20.60
増減額(B)-(A)	△265	40	79	11	—
増減率(%)	△6.6	18.3	40.9	7.1	—
(ご参考) 前第2四半期連結累計期間実績 (2021年12月期)	3,788	375	397	366	46.06

差異理由の詳細につきましては、2022年8月9日付「2022年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	899,107	979,866
受取手形及び売掛金	1,200,877	1,477,236
電子記録債権	203,184	180,840
製品	845,071	710,701
仕掛品	494,042	642,837
原材料及び貯蔵品	172,770	224,205
未収入金	56,280	67,900
その他	170,059	206,427
貸倒引当金	△3,623	△4,488
流動資産合計	4,037,769	4,485,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	684,724	740,349
機械装置及び運搬具 (純額)	865,310	973,215
工具、器具及び備品 (純額)	496,496	587,181
土地	734,781	734,781
リース資産 (純額)	407,958	349,485
建設仮勘定	438,478	398,742
有形固定資産合計	3,627,750	3,783,755
無形固定資産		
のれん	31,008	29,070
その他	73,890	76,142
無形固定資産合計	104,899	105,213
投資その他の資産		
投資有価証券	183,692	153,186
長期貸付金	5,733	5,723
繰延税金資産	58,346	45,838
その他	171,038	214,036
貸倒引当金	△10,865	△10,940
投資その他の資産合計	407,944	407,843
固定資産合計	4,140,594	4,296,812
資産合計	8,178,363	8,782,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	959,843	932,946
電子記録債務	160,715	163,438
短期借入金	2,561,315	2,758,436
リース債務	129,113	120,060
未払金	217,345	217,831
未払法人税等	102,439	48,541
前受金	460,964	—
契約負債	—	512,162
賞与引当金	72,866	73,266
製品保証引当金	32,836	30,111
その他	135,979	148,368
流動負債合計	4,833,420	5,005,164
固定負債		
長期借入金	836,419	892,189
リース債務	183,772	144,618
繰延税金負債	48,777	51,988
退職給付に係る負債	46,315	54,008
役員退職慰労引当金	14,539	3,403
資産除去債務	18,921	21,100
長期前受収益	569	—
固定負債合計	1,149,315	1,167,308
負債合計	5,982,735	6,172,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	738,793	751,790
利益剰余金	834,214	919,447
自己株式	△268,352	△233,272
株主資本合計	1,804,656	1,937,965
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,139	6,194
為替換算調整勘定	366,718	665,709
その他の包括利益累計額合計	390,858	671,903
新株予約権	113	—
純資産合計	2,195,627	2,609,869
負債純資産合計	8,178,363	8,782,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
売上高	3,788,457	3,742,482
売上原価	2,833,869	2,973,802
売上総利益	954,588	768,680
販売費及び一般管理費	578,721	510,617
営業利益	375,866	258,062
営業外収益		
受取利息	1,425	1,337
受取配当金	177	187
為替差益	49,171	31,388
補助金収入	—	4,453
その他	5,609	3,046
営業外収益合計	56,384	40,413
営業外費用		
支払利息	25,149	19,604
コミットメントライン手数料	3,000	2,000
その他	6,470	4,785
営業外費用合計	34,619	26,390
経常利益	397,630	272,085
特別利益		
固定資産売却益	77,422	946
特別利益合計	77,422	946
特別損失		
固定資産売却損	1,267	1,561
固定資産除却損	91	523
新型コロナウイルス関連損失	—	25,717
特別損失合計	1,359	27,802
税金等調整前四半期純利益	473,694	245,229
法人税、住民税及び事業税	102,008	52,833
法人税等調整額	△16,126	27,361
法人税等合計	85,881	80,195
四半期純利益	387,812	165,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,454	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	366,357	165,034

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	387,812	165,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,193	△17,944
為替換算調整勘定	135,765	298,990
その他の包括利益合計	142,958	281,045
四半期包括利益	530,771	446,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	506,989	446,080
非支配株主に係る四半期包括利益	23,781	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高、売上原価、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響も軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症により、我が国を含む世界各国の経済環境に多大な影響が生じております。今後の広がり又は収束を予測することは困難であり、今後も当社グループの業績に影響が及ぶことが想定されます。

当社グループでは、前連結会計年度の決算短信の追加情報において、2023年に向けて感染拡大が収束するとともに、経済活動が徐々に感染拡大前の状況に戻ると仮定しております。その結果、当該仮定を繰延税金資産の回収可能性の判断などの会計上の見積りに反映しておりますが、仮定の変更による四半期連結財務諸表への重要な影響はございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、影響が長期化する不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる場合があります。

(四半期連結損益計算書関係)

新型コロナウイルス関連損失

当第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

中国上海市で新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に実施されたロックダウンにより、上海不二精機有限公司の事業活動全般の停止を余儀なくされました。その際に生じた固定費相当額25,717千円を特別損失に計上しております。